



令和3年度 宿利原小学校だより

宿っ子

1月号



学校のホームページは上のQRコードからお入りください



「今年もよろしくお祝い申し上げます」

校長 有留 盛昭

ついこの間、新年が明けたかと思っていましたら、もう2月が迫っております。皆様はどのような新年をお迎えになったのでしょうか。皆様のこの一年の御多幸をお祈りしますとともに、本年も宿利原小学校の教育活動に御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



さて、裏面に紹介しましたが、先日半成人式を行いました。今年度10歳という節目を迎える子供たちを家族や学校のみinnでお祝いする行事です。10年前といえば東日本大震災が起き、津波によりたくさんの街並みが消えてしまいました。10年の歳月は、被災地に新たな街を作り、消えることはない大きな悲しみでさえも、少しずつ癒やしてくれるくらい長い年月です。では、更に10年が過ぎ、今の小学生が大人になる頃はどのような世の中になっているのでしょうか。

1980年代に上映された「バックトゥー・ザ・フューチャー」シリーズ(1985,1989,1990年)で描かれた未来は、2015年の世界でした。そこには、立体映像を楽しんだり、テレビ電話で連絡を取り合ったり、指紋認証や網膜認証で鍵を開け閉めしたりと、当時は映画の中だけだった夢のような技術が、現代では当たり前のように実在するものもたくさんあります。

伊坂幸太郎さんの書いた小説「モダンタイムス」(2008年出版)では、誰もが知りたいことは、なんでもインターネットで検索する世界が描かれています。「検索から監視が始まる」という設定で、国家機密に関するキーワードを検索する人に危険が訪れる話です。知りたい言葉を「ググる」人が多い現在は、検索キーワードからトレンドが生まれたり、位置情報システムの発達で携帯端末の場所まで管理できたりする時代です。一昔前は監視カメラとして負のイメージが大きかった「防犯カメラ」も、犯罪の抑止や解決のために欠かせないものになっています。

2021年までの私たちの生活に浸透してきたものは、「情報活用」に関するものが多く、これまで積み上げてきた「情報社会(Society 4.0)」の発展したものです。これからは、社会全体から集積された個別情報をビッグデータとして、個人が活用する「新しい未来社会(Society 5.0)」へと移行します。AI(人口知能)の発達で、多くの技術革新を起こすといわれています。目的地を指示するだけで走行する自動車などは、その代表格だと思います。便利な世の中になります。(ユーチューブ:経団連「20XX in Society 5.0 ~デジタルで創る、私たちの未来~」参照)

一方で、私たちの生活を支える仕事についても、現在の仕事の多くが機械(ロボット)に置き換わると言われています。また、新しい技術を使いこなしたり、開発したりする新たな人材も必要となります。今の子供たちが、生き生きと暮らし、活躍していくためには、新たなことに挑戦したり、常識にとらわれない自分の考えを大切にしたり、考えたことを自分なりに表現したりする能力が必要になります。GIGAスクール構想をはじめとする、教育技術の変化も、子供たちの未来を見据えて進められています。